

福本玲央写真展

九州自然歩道を歩き、
宮崎の歴史、暮らし、文化。
伝える、



令和4年度宮崎県ひなたの文化活動推進事業

福本玲央 オンライン写真展

gentle

2023 2/24(金) 19:00 配信

霧島錦江湾国立公園、祖母傾国定公園、綾ユネスコエコパーク、祖母傾大崩エコパーク、西都原古墳群、農業遺産に認定された日之影町や高千穂町の田園風景、多くの自然遺産、歴史遺産、文化遺産を里山がつなぐ九州自然歩道宮崎県ルート約375km。写真家 福本玲央氏が、歩いて、感じた宮崎県の魅力を、撮影した作品を通してお伝えします。



上記QRコードよりYouTubeチャンネルへお進みください。
お問い合わせ: hello@miyazakihc.org



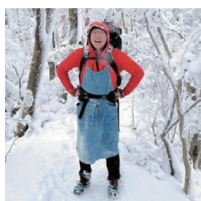
写真家 / 福本 玲央 [第一部]

旅を通じて世界各地でのドキュメンタリーやアウトドア写真/映像の撮影を行う。北極圏や南極大陸など極地でのキャンプといったアウトドアフィールドのタフな旅 からシャーマン取材撮影など“旅”を軸に幅広く活動。旅や冒険の中で出会う、そこに存在する人々や風景の至福の瞬間を収める。



成崎 聡 [第一部]

(一社)九州自然歩道フォーラム副代表 / NPO法人ひむか感動体験ワールド事業部長。山間部に生まれ、幼少の頃からの遊びや体験が、現在の豪快なアウトドア精神を創り上げた。アウトドアの達人。宮崎ルートの調査、ツアーの企画運営を行っている。



福島 優 [第二部]

(一社)九州自然歩道フォーラム事務局長 / キッチンハイク九州代表 / (合)Trail Head代表。九州自然歩道を通して、九州の魅力を発信し続けることがライフワーク。中学生のとき歩き旅と出会った。歩くのが大好きすぎて、現在仕事にしている。「あるこ!〜九州自然歩道の旅〜」に体験記を連載中。

第一部「写真家と宮崎を歩く旅」

九州自然歩道宮崎県ルート各地を撮影行脚した福本玲央氏、案内役として旅に同行した九州自然歩道みやざきハイキングクラブ高代勇人と九州自然歩道フォーラム成崎聡氏、トレイル専門家であるトレイルブレイズハイキング研究所長谷川晋氏4人によるクロストーク。写真作品とともに旅を振り返り、宮崎県を歩いて旅をする魅力について4人で語ります。

第二部「長く歩く旅の文化」

九州全域で活躍中の一般社団法人九州自然歩道フォーラム、日本各地でトレイル事業に携わる一般社団法人トレイルブレイズハイキング研究所、ロングトレイル運営の先進事例として活躍中のNPO法人みちのくトレイルクラブ、各団体より代表者にご参加いただき、九州自然歩道宮崎県ルートの魅力とともに、日本における歩く文化やメディアの役割について4人で語ります。



高代 勇人 [第一部 / 第二部]

九州自然歩道みやざきハイキングクラブ代表。一昨年、東京から宮崎県宮崎市に移住したハイカー。縁あって九州自然歩道宮崎ルートの再興へ向けた事業に参加。九州自然歩道みやざきハイキングクラブを設立し、調査や整備のために宮崎県内各地に出発中。



長谷川 晋 [第一部 / 第二部]

(一社)トレイルブレイズハイキング研究所代表理事 所長 / Hikers Depotスタッフ。アメリカのロングトレイルをスルーハイク後、その経験を更新ハイカーにイベントなどを通じ積極的に提供。現在は、所長として日本におけるロングトレイルやハイキング文化発展に奔走している。



相澤 久美 [第二部]

NPO法人みちのくトレイルクラブ常務理事事務局 長 / (一社)トレイルブレイズハイキング研究所常務理事。みちのく潮風トレイル運営の計画策定に携わり、2017年NPO法人みちのくトレイルクラブを設立、トレイル運営、利活用に取り組む。(一社)トレイルブレイズハイキング研究所の常任理事としても各地のロングトレイル施設、振興を応援している。

主催: 九州自然歩道みやざきハイキングクラブ
助成: アーツカウンシルみやざき 後援: 宮崎県



協力: 一般社団法人 九州自然歩道フォーラム
協力: 一般社団法人 トレイルブレイズハイキング研究所
協力: NPO法人 みちのくトレイルクラブ



高原町から高千穂町まで歩けます。

九州自然歩道 宮崎県区間：約 375km



高千穂町：52km

日之影町：24km



延岡市：43km



美郷町：60km



日向市：20.4km

都農町：9.5km



川南町：22km

木城町：10km



西都市：41.5km

国富町：12km

綾町：29km

小林市：13km

都城市：7.6km

高原町：31km